

武蔵国分寺跡資料館だより

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum Newsletter

編集・発行・印刷

見る / 学ぶ / 訪ねる /

武蔵国分寺跡資料館

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum

[住所] 〒185-0023 東京都国分寺市西元町1-13-10
[電話] 042-323-4103 [FAX] 042-300-0091
[E-mail] museum@city.kokubunji.tokyo.jp
[HPアドレス]
<http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/shisetsu/kouen/1005196/1004239.html>

2018.10
第36号



Temporary Exhibition



武蔵国分寺跡資料館 平成30年度秋季企画展

国分寺の小学校 — 明治時代の学校教育 —

- 開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時45分まで)
- 期 間 平成30年10月20日(土)～
11月25日(月)
- 会 場 武蔵国分寺跡資料館 講座室
- 入館料 「おたかの道湧水園」への入園料が必要
- 休館日 月曜日(祝・振替休日の場合は直後の平日)

【展示構成】

- 第1章 明治政府と教育制度
- 第2章 寺子屋から学校へ
- 第3章 国分寺にできた小学校とその変遷

平成30年は明治150周年という節目の年です。明治5年(1872)に学制が公布され、全国に小学校が開設しました。国レベルでの学校教育制度はこの時初めて設けられ、明治時代を通じて教育制度の改正が何度も行われ、現在の学校教育の基盤を形作りました。

国分寺市域でも明治時代に3校の小学校が開設され、現在の小学校まで続いています。本展示では明治時代の学校教育をテーマとして、教育関連の資料を中心に、国分寺市域に設けられた3つの小学校を学校教育の変遷と共にご紹介します。



小学算術書



尋常小学新体読本



明治地誌



小学教授法

市内で唯一水車小屋が残る「榎戸水車」の調査を行っています

国分寺市内の水車

水車とは、水のエネルギーを回転力に変えて様々な道具類を動かす機械装置です。承応3年（1654）頃開通した玉川上水から、国分寺市域へ田用水・飲用水として分水が引かれましたが、やがて武蔵野の新田開発が落ち着くと、それらの分水に水車が設置されるようになります。天明8年（1788）の『上水記』によると、最初に国分寺市域に水車が作られたのは安永3年（1774）で、以降明治期を中心に市内の分水に設置された水車の数は10台にのぼります（図1）。市内の水車では精穀・製粉・製糸が行われていました。

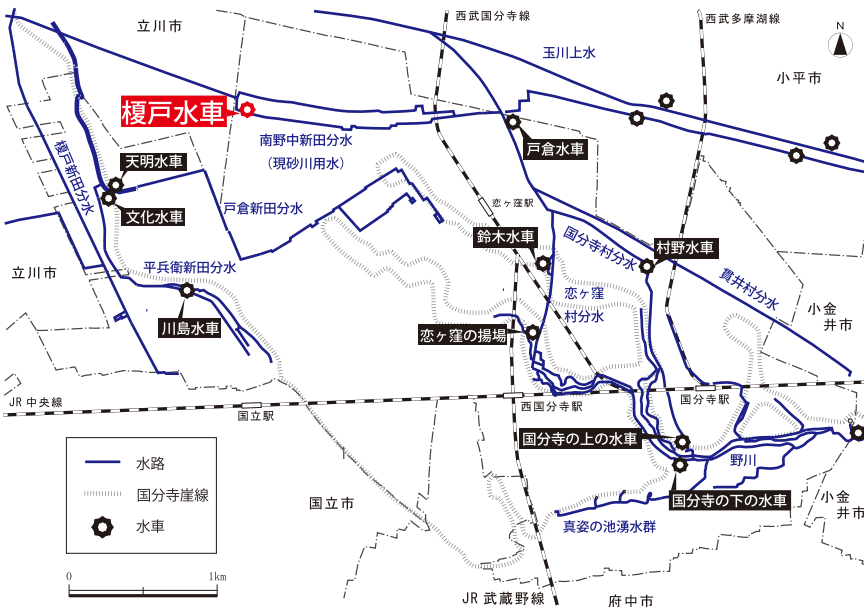


図1 市内の用水と水車位置図

榎戸水車

榎戸水車は、明治43年（1910）に並木町3丁目の南野中新田分水（現砂川用水）に設置され、米や大麦を搗いて薄皮を剥く精穀、小麦を挽いて粉にする製粉用の水車として昭和36年（1961）まで稼働していました。水車の心臓部分である水輪が失われてしまっていますが、現地には昭和6年（1931）改築の水車小屋が残っています。市教育委員会では、市内に唯一残る貴重な水車小屋を持つ榎戸水車について、平成28年度より建造物、文書史料、民具など分野を横断した総合文化財調査を行っており、ここでその概要を紹介いたします。



榎戸水車 大正11年頃撮影
(榎戸敏雄氏所蔵)

水路

南野中新田分水（現砂川用水）は、五日市街道の南北に分岐して流れますが、榎戸水車はその南側水路の北に位置します。水車小屋と用水路の間には、水車専用の水路である回し堀や水量を調節するための堰があったことが地図（図2）で確認でき、現地にも痕跡が残っていることから水車小屋の南側に水輪が付き、回し堀でその水輪を回転させていたことが判ります。



砂川用水と水車小屋現況（南西から撮影）

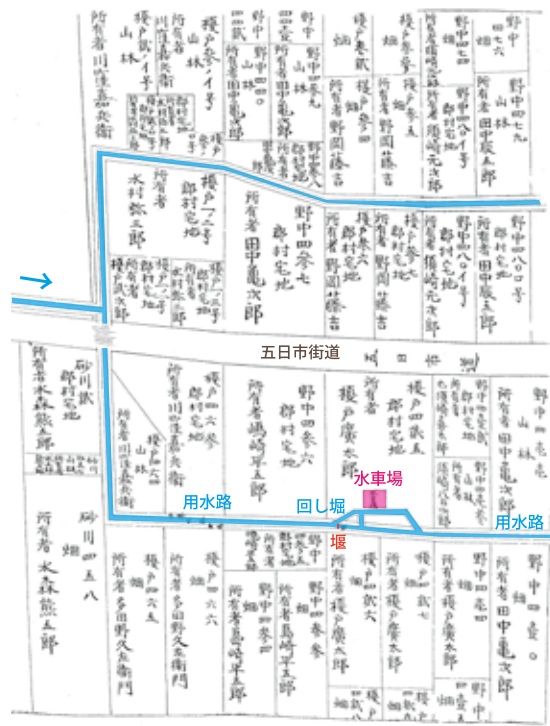


図2 榎戸水車周辺の古地図（東京都公文書館所蔵に加筆）

水輪

前述したように榎戸水車に水輪は残っていませんが、昭和9年に水輪を交換した際の設計書が見つかり、そこから直径一丈五尺（約4m54cm）、幅三尺（約91cm）だったことが判りました。車輪のスポークにあたるクモデは16本で、各クモデの間に水を受ける箱がつく構造でした。現地に残るコンクリート土台を手がかりに水輪の設置位置をある程度想定することが可能です（図3）。

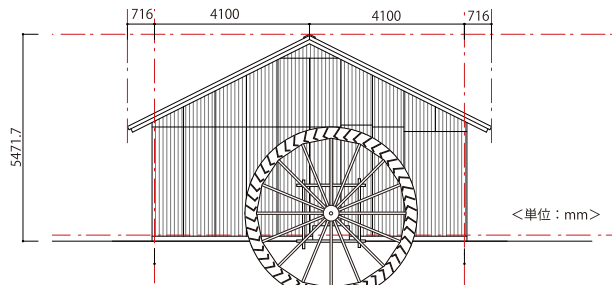
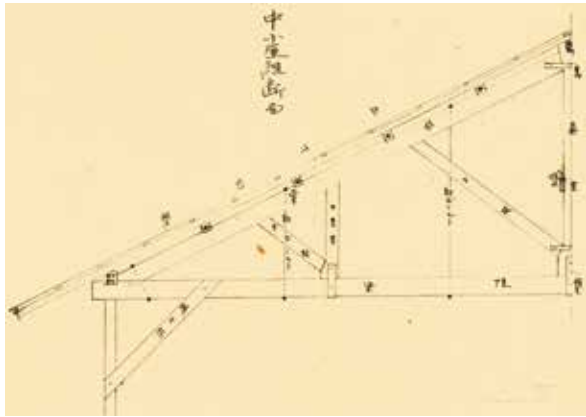


図3 水車小屋南立面図（現況）と水輪復元図重ね図 1/200

水車小屋

現存する水車小屋の柱には「昭和六年四月改築」の墨書が残り、小屋内から発見された史料から、昭和6年（1931）に恋ヶ窪の棟梁坂本善市によって建てられたことがわかります。明治43年（1910）の建物から小屋を大きくしており、大空間を確保するため小屋組にはトラス構造が採用されています。



昭和6年 水車小屋設計図（中小屋組断面）

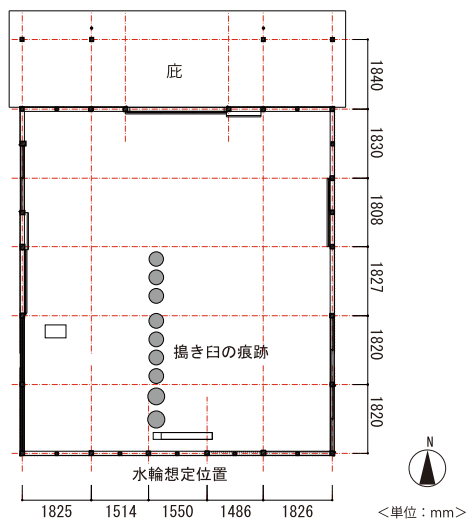


図4 水車小屋平面図（現況） 1/200

水車機構

水車では水輪の回転運動を杵の上下運動に変換し、搗き臼で精穀しました（図5）。現在も水車小屋の床には鉄製の搗き臼が9個埋まっています（図4）。水車小屋改築以降、精穀機（昭和6年）、精米機（昭和7年）、製粉機（昭和9年）などを購入しており、昭和28年（1953）頃にディーゼルエンジンが、昭和32年（1957）に電動機が導入されています。小屋内の梁上には鉄製のシャフトとプーリーが残っており、ベルトで接続して機械類へ動力を伝えていたようです。

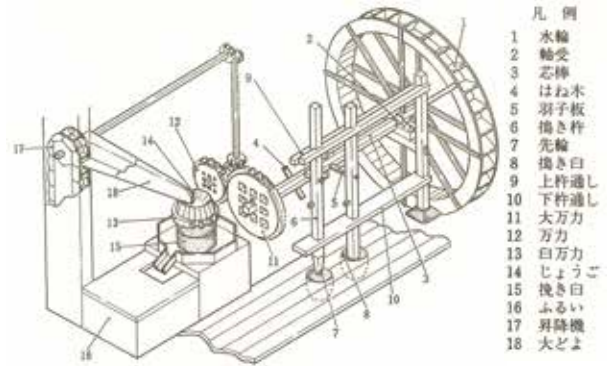
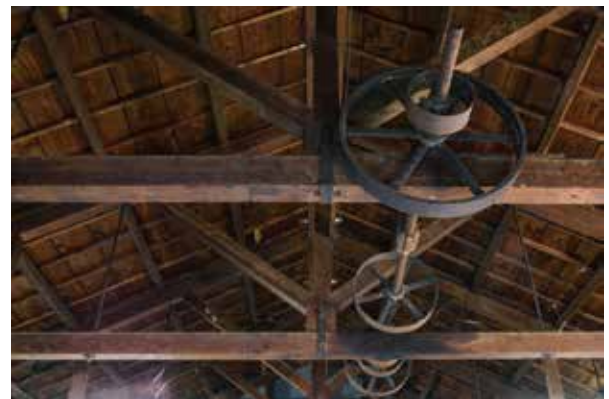


図5 水車の構造（国分寺市史中巻より）



水車小屋組に残るシャフトとプーリー（南から撮影）

道具類

水車関連の道具類は多くは残っていませんでしたが、水車小屋付近の庭には石製の精穀機の台や配達用のリアカーが残り、小屋内からは穀類を計量する際の杵や桶、「榎戸水車場」のゴム印等が見つかりました。

今後とも引き続き、榎戸水車の調査を進め、その成果を皆様に御報告いたします。（野中太久磨）



榎戸水車場印（榎戸敏雄氏所蔵） 右側は反転画像

INFORMATION

ガイドボランティアによる現地説明



ガイドボランティアが史跡武蔵国分寺跡周辺の各場所で現地説明をします。

【日時】2018年11月4日(日)
11:00～15:00※説明時間は約20分

体験イベント「レプリカをつくろう！」



武蔵国分寺跡資料館所蔵の鍍瓦等の小さなレプリカを作ります。型取りした後に、好きな色をぬった完成品はお土産として持ち帰ることができます。

【日時】2018年11月4日(日)
第1回 10:30～/第2回 14:00～

国分寺市指定文化財特別公開



市重要有形文化財を特別公開します。

①日本多家住宅倉 ②国分寺村古絵図

【日時】①2018年11月4日(日)
②2018年10月10日(水)～11月25日(日)

NEWS

無料公開日お知らせ

おたかの道湧水園開園記念日と第35回国分寺まつりに合わせて、下記の日程で無料公開いたします。

- ・2018年10月18日(木)<開園記念日>
- ・2018年11月4日(日)<第35回国分寺まつり>

東京文化財ウィークのお知らせ

都内にある文化財を身近に感じていただくため、2018年10月27日(土)～11月4日(日)の期間実施します。ガイドブックを当館などで配布しています。

武蔵国分寺跡資料館ご利用案内



交通のご案内

※駐車場はありません

【電車】○JR国分寺駅下車/徒歩約20分 ○JR西国分寺駅下車/徒歩約15分

【バス】○国分寺市循環バス「ぶんバス」万葉・けやきルート「史跡武蔵国分寺跡」下車/徒歩約8分

○国分寺市循環バス「ぶんバス」日吉町ルート「泉町一丁目」下車/徒歩約8分

○国分寺駅南口より「京王バス」系統番号<寺83>・<寺85>乗車「泉町一丁目」下車/徒歩約8分

【主な説明場所】武蔵国分僧寺跡金堂跡、七重塔跡、国分寺楼門、真姿の池湧水群

【集合場所】各説明場所へ直接【参加費】無料

【問合せ先】ふるさと文化財課 042-300-0073

※詳細は国分寺市報 [10/1]・市ホームページでお知らせします。

【対象者】小学生・中学生※小学3年生以下は保護者同伴

【人数】各回とも先着20名

【場所】おたかの道湧水園内(西元町1-13-10)

【参加費】無料

【問合せ先】ふるさと文化財課 042-300-0073

※詳細は国分寺市報 [10/15]・市ホームページでお知らせします。

【場所】おたかの道湧水園内(西元町1-13-10)

(②は日本多家住宅長屋門展示スペース内)

※10月18日(木)・11月4日(日)のおたかの道湧水園無料公開日以外は通常どおりの入園料が必要となります。

来館者数

2009年10月18日～2018年8月末日

来館者数累計 122,301名

多くのご来館ありがとうございました

月	来館者数	開館日数
7	458	27
8	585	26
計	1,043	53

【7月～8月の学校見学】(内人数<市外>

東京電機大学付属高校(3)、東京電機大学付属中学校(2)、東京電機大学付属小学校(10)、シュタイナー学園高等部(3)、シュタイナー学園中等部(2)、東京学芸大学地理分野(12)

○来館者数は、おたかの道湧水園の入園者数

お詫び：武蔵国分寺跡資料館第34号4頁「来館者数」の欄で、4月の来館者数1,249名は1,719名の誤りで、来館者数累計は117,536名ではなく、正しくは118,006名となります。併せて、武蔵国分寺跡資料館第35号4頁「来館者数」の来館者数累計も120,788名ではなく、121,258名となります。訂正してお詫びいたします。

■開館時間

午前9時～午後5時(入館は午後4時45分まで)

■休館日

毎週月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)
年末年始(12月29日から1月3日まで)
※展示替えなどで臨時休館することがあります。

■入園料

資料館に入館するには「おたかの道湧水園」への入園料が必要になります。(入園券は史跡の駅で販売)

一般……………100円(年間パスポート1,000円)

中学生以下……………無料

【入園料の減免規則があります】

- (1) 学校の教育活動で生徒(中学生を除く)、学生及び引率の教職員が入園するとき〔事前(5日前まで)に減免申請書の提出が必要です。〕
 - (2) 身体障害者及びその介護者が入園するとき〔発券窓口の史跡の駅で身体障害者手帳等の提示が必要です。〕
 - (3) その他教育長が特別の理由があると認めるとき〔事前(5日前まで)に減免申請書の提出が必要です。〕
- ※減免申請書は、国分寺市のホームページからダウンロードできます。



ホームページQRコード